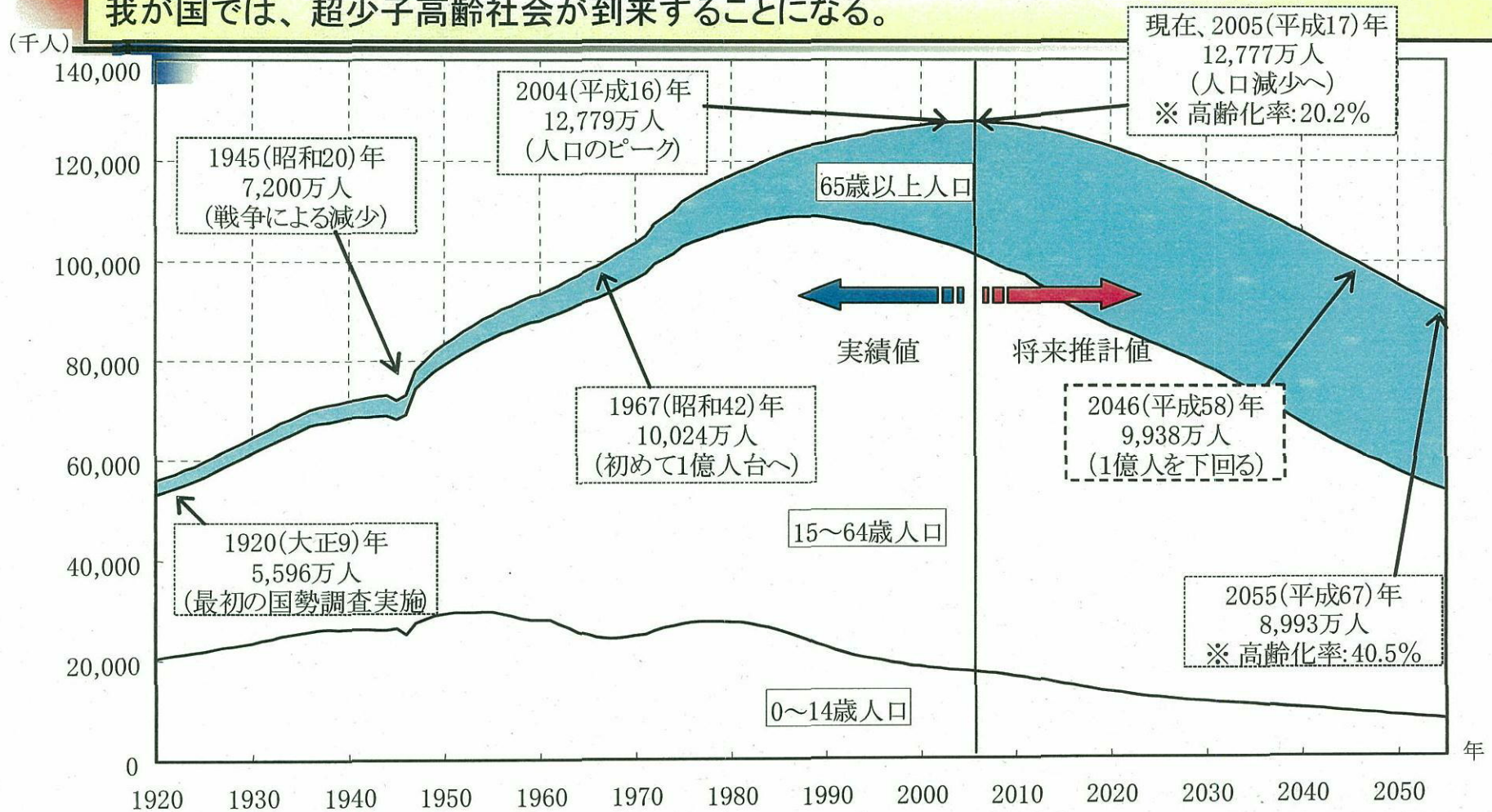


人口減少社会の到来

- 現状のまま少子化が進行すると、2046年には総人口が1億人を下回る。
- また、2055年には、総人口に占める65歳以上人口の割合(高齢化率)が40.5%に達し、我が国では、超少子高齢社会が到来することになる。



資料: 2005年までは総務省統計局「国勢調査」、「10月1日現在推計人口」、2006年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」

注: 1941~1943年は1940年と44年の年齢3区分別人口を中間補間した。1946年~71年は沖縄県を含まない。